



2017年7月5日
イオンリテール株式会社

生産者の方々とともに地域の食文化を次代につなぐ「フードアルチザン」 7/11(火)青森の小学生47人がカシスの実を収穫 3年前に子どもたちが植えた苗木が育ちました

イオンは、7月11日(火)、青森県、青森市、あおもりカシスの会とともに、青森市立浪岡北小学校6年生47人によるカシスの収穫祭を実施します。

イオンは、日本の伝統的な食文化を伝える食材や技術を生産者の方々とともに保存、継承する取り組み「フードアルチザン(食の匠)」に全国各地で取り組んでいます。

2012年には、青森県、青森市、あおもりカシスの会とイオンリテール(株)がパートナーシップを組み、あおもりカシスを地域ブランドとして競争力を高め、地域経済の活性化につなげる「あおもりカシス食の匠倶楽部」を創設しました。手摘みで丁寧に収穫されるあおもりカシスを、グループのインフラを活用し、全国に広がるグループ店舗やネットショップを通じてお客さまにお届けしています。

「あおもりカシス食の匠倶楽部」活動の一環として2014年5月、青森の子どもたちに国内生産量日本一を誇るあおもりカシスについて知ってもらうとともに、生産から流通までの過程を実際に体験することで、食べ物が食卓に届く仕組みを学んでもらうことを目的として、浪岡北小学校の3年生47人が36本のカシスの苗木を植樹しました。植樹の際に、カシスが実をつける3年後、6年生になった子どもたち自身の手で収穫することを約束しており、このたび収穫祭を開催する運びとなりました。

イオンは、地域の食文化を未来の子どもたちに伝えるため、これからも、自治体、生産者の皆さまとともに、さまざまな活動に取り組んでまいります。

記

1. 日 時：7月11日(火) 10:45～11:55
 2. 場 所：青森市浪岡大字杉沢字板橋野山
 3. 参 加 者：青森市立浪岡北小学校6年生47人
 4. 主な出席者：青森県知事
(予定) 青森市長
あおもりカシスの会 会長
イオンリテール(株)青森岩手事業部長
 - 三村 申吾 様
小野寺 晃彦 様
石岡 大亮 様
久野 朗
5. 収穫本数：3年前に子供たちが植樹した36本のカシスの実

以上

【青森県産カシスを使用した商品（一例）と展開の予定】



■工藤パン イギリストースト

青森県産カシスジャム&ヨーグルト風クリーム

7月1日（土）発売

工藤パンの看板を背負って立つ超ロングセラー商品に新たなフレーバーが加わりました。カシスジャムとヨーグルト風味クリームの絶妙なハーモニーが格別です。



■山崎製パン ナイススティック

青森県産カシスのジャム&ホイップ

7月1日（土）発売

ちょっぴり長めのロールパンに、青森県産カシスのジャムとホイップクリームを端から端までサンドしました。



■山崎製パン ランチパック

北海道産牛乳入りホイップ&青森県産カシスのジャム

6月1日（木）発売

ヤマザキの大人気ロングセラー商品「ランチパック」。北海道産牛乳入りホイップと青森県産カシスのジャムをサンドしました。



■ラミデュパン まあるいたまごぱん カシス（8個入）

7月8日（土）新発売（予定）

「収穫祭」を記念して発売される、イオングループオリジナル商品です。青森カシスピューレ1.25%配合。国産たまごを贅沢に使用、もちもちとした食感としっとりとした生地が特徴のたまごぱんです。

▼7月11日（火）収穫祭当日

上記「イギリストースト」と「ナイススティック」を、浪岡北小学校の6年生47人と関係者にプレゼントさせていただきます。

▼7月15日（土）・16日（日）

上記商品を、青森県内のイオンをはじめグループ店舗にて、お値打ち価格で販売するとともに、「イオン青森店」と「イオン藤崎店」では試食販売をおこないます。

※店舗により、取り扱い商品、価格が異なります。

ご参考

- 3年前（2014年5月13日）のカシス植樹活動のお礼に、同年12月、カシスを使用したクリスマスケーキをプレゼントしました。



- 「あおもりカシス食の匠倶楽部」について
2012年10月3日、青森県、青森市、あおもりカシスの会とイオンリテール(株)がパートナーシップを組み設立しました。
青森カシスが競争力のある地域ブランドとして確立され、食文化の担い手の育成、地域経済の活性化へとつながるよう全国へ情報発信し、次代につなげていきたいと活動しています。
- カシス日本一、青森市
カシスはヨーロッパ原産のベリー仲間です。
主に北欧の寒い地方で栽培され、古くから利用されてきました。
青森市のカシス栽培は、青森市の夏季冷涼な気候が栽培に適していたため、1975年にドイツから導入された苗木が青森市に株分け寄贈されたのをきっかけに、1977年、当時の青森市管内農協婦人部へ提供され栽培が始まりました。
1985年に、青森市管内農協婦人部農産加工振興会を発足、加工品の試作、苗木の一人一本運動などの活動が続けられた結果、栽培面積が広がりカシスを使った商品も販売されるようになりました。
近年では、カシスに対する注目度が高まったことから、日本一のカシスの生産地として認知されています。